

製品名: RUNX3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87005**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC,IP |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW:44,46 kDa; Observed MW:44,46 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------|
| 遺伝子名 | RUNX3 |
| 別名 | AML2; CBFA3; PEBP2aC |
| 遺伝子 ID | 864 |
| SwissProt ID | Q13761 |
| 免疫原 | ヒト RUNX3 の合成ペプチド |

背景

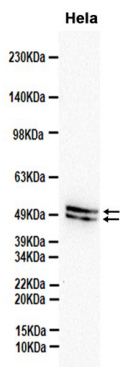
この遺伝子は、ランドドメインを含む転写因子ファミリーの一員をコードしています。このタンパク質と β サブユニットのヘテロ二

量体は複合体を形成し、多くのエンハンサーやプロモーターに存在するコア DNA 配列 5'-PYGPYGGT-3'に結合し、転写を活性化または抑制することができます。また、他の転写因子とも相互作用します。腫瘍抑制因子として機能し、がんにおいては頻繁に欠失または転写サイレンシングされます。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016年3月]

研究分野

-

画像データ



RUNX3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。